



やびく みつる
屋比久 満 議員

◇教育行政を問う

問 (1) 全国学力テストの町内小学校6年生の4科目の結果を伺う。(2) 町内中学3年生の5科目の結果を伺う。

教育部長 (1) 小学校においては4校とも4科目すべての領域で県平均、全国平均を上回って

◇豪雨災害を問う

問 小波津川が氾濫した要因を問う。

建設部長 整備が完成形でないことや、今回の大雨が集中豪雨で1時間当たりの雨量が多かったこと、国道より下側の用地買収が難航し整備の遅れがあり、国道の小波津川橋の未整備箇所も影響があると考える。

◇農水産物流通・加工・観光拠点施設の進捗状況?

問 (1) 総事業費概算予算を伺う。(2) カフェレストラン

◇MICEに対する対応を問う

問 (1) 総事業費513億円の一括交付金が決定していないが打開策を伺う。(2) 住民大会を開催し県知事をバックアップする考えはあるか、伺う。

町長 (1) 県はもとより、国に対しても再三要請しているが、今後10月11日に道路整備の全国大会等で国に対してさらに要請活動をしたいと考えている。(2)

住民大会も視野に入れながら、今後、取り組みをさせていただきたいと考えている。

◇都市モノレール延伸計画案

問 都市モノレール延伸計画案で、延伸距離、駅数等に、西原町の持ち分の予算額は幾らになるか。

総務部長 現時点で答える材料はない。

問 浦添市のモノレール延伸に伴う当初予算は。

企画財政課長 浦添市が負担している額は40億円程度になると聞いている。

問 浦添市の40億円がそのまま西原町の延伸距離に当てはめて、事業予算が投じられるとなれば、財政的に町当局の見解は。

副町長 財政的には非常に厳

◇新県道浦添西原線

問 新県道浦添西原線の工事に伴い、町長は県に対し、道路から30メートルの距離に給食調理場が隣接すると車両通行で粉塵や排ガス対策を徹底するように要

問 新県道浦添西原線の工事に伴い、町長は県に対し、道路から30メートルの距離に給食調理場が隣接すると車両通行で粉塵や排ガス対策を徹底するように要



いは ときお
伊波 時男 議員

◇国が市町村の文化財活用支援による地域振興

問 国が市町村の文化財活用支援に地域振興へ来年度、通常国会に文化財保護法改正案を提出するが、具体的な内容と町内文化財の関係は。

教育部長 市町村の主体的な



幸地で行われている保存活用区域設定、あと関係文化資産等の指定等も含めてやっている。

問 国の支援活動は、西原町に置き換えると、何を示しているか。

生涯学習課長 現在、棚原、



みやざと ひろふみ
宮里 洋史 議員

◇豪雨被害原因は?

問 6月の大雨の災害について、小波津川流域以外にも被害がある。今後の対策は。

建設部長 今後、地域の調査、排水、構造物の断面解析等を行い、冠水被害が構造的な要因なのか、自然的な要因なのか検証する必要

がある。構造的な要因であれば、修繕、改修計画を立て、計画的に改善していく必要がある。その場合には国、県の管理施設の誘因がないかも検証していく必要がある。

問 調査のための予算はいくらかかるのか。

土木課長 調査をするのであれば150万円程度でデータ化をして、地域の聞き取りまでを出来たらというものである。

◇水害を大枠で把握する必要

問 水害を大枠で把握する必要がありそれがまちづくりの方向性を示す指針の一つになると思うがいかがか。

町長 宮里議員おっしゃるように県や国とも西原町の治水対策について少し意見交換をしていきたいと思っているのもう少し時

◇預かり保育の補助金活用は?

問 預かり保育について一律5千円で実施しているが階層

分けにしてはどうか。町長の施政方針の貧困対策という点でもどうか。



大雨で冠水した国道329号小那覇交差点付近(6月19日)

◇観光を盛り上げるための規制緩和を!

町長 どの程度、今後、子育て支援を打ち出せるのか、慎重に財政状況を見極める必要があると思っている。

問 例えばマリナーパークの通りに屋台を構えて夜市をしてもよいというルールをつくる。県から許可をもらい、観光をまとめる団体にその権利を渡せば、収入増になり、団体はそれだけで運営できると思う。そのようなルール変更、規制緩和についても観光計画の中で盛り込んでいただきたい。